



Hokkaido Yuni Town

ゆに

平成30年

4

2018年
No.720

思い出
噛みしめて

卒業

由仁小学校 最初の卒業式

小さくてもキラリ、人が輝き、町が輝くために

町政執行方針



1 小さくてもキラリと輝くまちへ



今年、我が国が近代国家への第一歩を踏み出した明治元年から150年に当たる年です。

明治期の新たな国創りに費やした先人たちの苦労は図り知れませんが、先人から受け継いだ財産を次の世代へ引き継いでいくため、現在だけでなく、その先を見据えたまちづくりを町民のみなさんと手を携えながら進めていきます。

歯止めをかけることができない人口減少に限らず、私たちの暮らしや、それを取り巻

く社会は時代の流れとともに大きく変化しています。その変化はさまざまのものがああり、町はこれからさらに大きなうねりの中を進まなくてはなりません。

「明治維新」から「大正」「昭和」を経て、今年「平成」が365日続く最後の年です。この節目の年に由仁町の未来をしっかりと切り拓いていけるよう先頭に立ち、この困難な課題に取り組む決意です。

町長に就任してから3年間、種をまき、少しずつではあります。芽が出てきたものもあります。4年目は、これらの芽をさらに成長させるため、スピード感をもってまちづくりに取り組んでいきます。

II 各会計予算について



町財政は非常に厳しい状況が続いています。

今年の予算編成は、いわゆる町の貯金にあたる財政調整基金を昨年に引き続き取り崩して収支を整えたところであり、その残高は大幅に減少しました。

その原因は、平成30年度地方財政計画において、地方交付税が出口ベースで昨年に対し、総額3,213億円、2.0%の減少となり、このことが予算編成を困難にした一番の要因です。

当町の歳入の主要財源であ

る地方交付税は、地方6団体を通じて引き続きその総額の確保を強く要望していきますが、先送りや、将来を担う次世代に負担を残さないために、身の丈に合う適正な財政運営に努めなければならぬと考えています。

今後の財政運営においても、重要度・緊急度の高い事業の選択と重点化を優先し、聖域を設けることなく財政の健全化に取り組んでいきます。

各会計の予算は、一般会計47億6,260万9千円、国民健康保険事業特別会計10億4,228万2千円、農業集落排水事業特別会計3億7,150万3千円、介護保険事業特別会計6億9,877万5千円、後期高齢者医療特別会計9,595万8千円、国民健康保険由仁町立診療所特別会計4億2,308万5千円、介護老人保健施設事業特別会計1億1,544万9千円、水道事

業会計9億3,218万5千円で、その合計を前年度対比12%減の84億2,794万6千円としました。

III 地域・行政



1 住民参加の促進と

地域コミュニティの構築

新しい力の発掘は、これからの時代に欠かすことができないものです。

人口減少と高齢化の進行から、様々な委員会における委員選出にも苦勞する状況が続いていますが、行政組織の活性化と効率化を図るため、若

者と女性の町政参加を促す試みを続けていきます。

2 移住・定住の促進

昨年4月に「由仁町移住交流支援センター」を開設し、2人がセンター内に常駐をしています。「暮らし」「なりわい」「移住支援」「定着支援」をワンストップで行う窓口として、移住希望者や移住された方に対し、きめ細やかにかつ寄り添いながらこれら支援を一貫し推進していきます。

また、「空き家空き地バンク」は、特に空き家の登録が少ない現状の課題を克服するため、町内の空き家の把握を重点的に行うとともに、空き家所有者にバンク登録への理解を深めてもらえるよう固定資産税納付書送付時に「空き家空き地バンク」への掲載依頼文書を同封するなどして登録物件の増加に努めていきます。

3 連携・協働・交流による 地域づくりの推進

由仁町に限らず、我が国全体が人口減少社会に突入した中、当町の特性や豊かな資源をいかし、町民が一体となって企業や大学、NPO法人などの多様な主体と連携・協働したまちづくりを進めていかなければなりません。

また、自治体の枠を越えた連携で解決できる問題もあることから、今年も南空知4町や、道都大学・江別市内の4大学、さらには札幌圏や首都圏との連携を視野に入れ、既存の枠に捉われず積極的な連携・協働・交流を深めていきます。

4 次世代を担う人材の育成

若者同士のタテ・ヨコの関係を築きながら、若者たちが抱く「夢」や「抱える課題」を共有し、ビジネスを学べる

度化推進事業により、農業機械を導入していきます。

2 地域の特性に応じた 商工業の推進

商工業者の経営基盤の安定化を図るため、商工会が実施する経営改善普及事業を支援するとともに、プレミアム付商品券事業を引き続き支援し、地域経済の好循環を促進していきます。

商店街の活性化については、商店街の魅力向上や賑わいの創出によって、集客向上につながる主体的な取り組みを商工会と連携・協働していきます。

3 優位性・地域特性を活かし た力強い地域産業の創造

「やっぱり由仁のものがいい条例」に基づく由仁のもの推進事業は、引き続き商工会など関係団体と連携し、地産地消の普及啓発や特産品開発、

場として昨年開講した「由仁町若者担い手育成塾」には将来を担う若者13人が参加しています。

今年は、ビジネスについて深く学んだり幅を広げるなど、昨年よりもさらに内容を拡充するとともに、魅力的なメニューを揃えて人材の育成を進めていきます。

5 健全な財政運営と 透明性のある行政の推進

国は景気回復による地方税の増収を理由に、地方交付税の削減を進めています。しかしながらこのことは、歳入の5割近くを地方交付税に頼り、税収が伸び悩む当町にとっては死活問題です。

事務事業評価によって事業のスリム化を図り、行政経費の縮減に努めるとともに、時には厳しさを持って町民のみなさんとの対話を進めながら、町としての基礎体力をつける

道内外におけるPR活動を推進していきます。

4 観光施設との連携による 交流人口の拡大

豊かな自然や豊富な農産物など当町の特徴ある観光資源をいかし、町内観光施設や観光協会、さらには近隣市町とも連携し、交流人口の拡大に努めます。

また、近隣市町や千歳観光連盟と連携し、広域的なサイクル観光に取り組み、当町への誘客を促進していきます。

5 企業・創業支援による 雇用の促進

由仁町創業支援事業計画に基づき、「由仁町創業塾」の開催など関係機関と連携した取り組みを進めるほか、近隣4町で設置している南空知通年雇用促進協議会で、季節労働者の通年雇用化を図ります。

べく財政の健全化を進めていきます。

IV 産業・経済



1 農業の持続的な発展

「由仁町農業・農村振興計画」に基づき、良質で安心・安全な農畜産物の生産と、効率的で安定した農業経営を確立するため、関係機関・団体と連携し、持続可能で活力ある農業・農村づくりを進めていきます。

今年度から、米政策の転換により、生産数量目標の配分が廃止され、産地で主体的に

需要に応じた生産に取り組むこととなり、北海道農業再生協議会が示す「生産の目安」に基づく、由仁町農業再生協議会を核とした「売れる米づくり」に向け、水田フル活用の取り組みを一層推進していきます。

多面的機能支払、中山間地域等直接支払、環境保全型農業直接支払からなる「日本型直接支払制度」や町独自の「由仁町強い農業経営体育成事業」により、農業者の創意工夫に富んだ農業経営を支援するとともに、「担い手の育成・確保」「経営所得安定対策」の着実な推進に努めます。

農地の基盤整備は、引き続き農業生産基盤整備事業を推進することとし、西三川地区および熊本地区、上岩内地区について、促進費の活用による農家負担の軽減を図るとともに、農地の良好な生産環境の維持や条件整備を行うため、新たに西三川地区耕地利用高

V 福祉・教育



1 安心して質の高い医療サービス・保健活動の推進

3月1日に、国民健康保険由仁町立診療所並びにこの診療所に併設した由仁町介護老人保健施設「ひだまり」を開設しました。

これまで町立病院は、町内で唯一入院および救急の機能をもつ医療機関として町民の健康の維持や治療など医療サービスの提供を行ってきました。

今後、診療所は、その機能の一部を保ちながら、ますます

す地域医療の在り方が問われる中で、在宅医療の充実や「介護」「福祉」の各分野との連携を見据え、地域包括ケアシステムにおける医療の中核的な役割を果たしていきます。

また、4月から当町が今後の在宅医療を進めていく上で確保したい総合診療の医師の採用が決まりました。

今後、新たな医師を含めた体制のもと、訪問診療や訪問看護など在宅医療の実現に向けた診療体制の構築に取り組むほか、町民に身近な「かかりつけ医」としての機能や役割を果たしていくため、自治区や老人クラブと医師との懇談会並びに出前講座を保健や福祉の専門職とも連携し、実施してまいります。

このほか、地域包括支援センターや関係機関との情報交換および事例検討など診療所内で地域ケア会議を定期的の実施し、医療と介護の切れ目のないサービス展開を図り、

町民が安心と信頼を持てる医療機関を目指します。

保健活動についてですが、安心して暮らしを続けるためには、健康であることが欠かせません。そのためには、自分自身の体の状態を把握し、自己管理していくことが大切です。

町民のみなさんには、度重なる機会ごとに特定健診の受診をお願いしていますが、その結果として平成28年度の特健健診受診率は全道5位、国民健康保険の都道府県単位化により前倒しで実施されている保険者努力支援制度は全道3位となり、みなさんの協力と健康意識の高まりが数字となって表れてきています。今後も、特定健診受診率向上の取り組みを進め、昨年度開始した「健康推進・地域活性化試行的事業」、いわゆる「KCM事業」についても継続実施していきます。

また、第2期保健事業実施

アシステムを深化させ推進していきます。

障がい者福祉についてですが、国では、高齢者・障がい者・子供などすべての人々が、一人ひとりの暮らしと生きがいとともに創り、高め合う地域共生社会の実現を提唱しています。高齢者保健福祉計画と合わせて策定した「第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画」に基づき、障がい者のみなさんが安心して生活を送ることができる地域づくりに努めます。

このほか、南空知消費生活相談室をはじめ、近隣町や北海道立消費生活センターと連携し、迅速な情報を発信し、振り込め詐欺や架空請求など特殊詐欺の未然防止対策に取り組んでいきます。

4 豊かな人間性を育む

学校・社会教育の推進

今年度から学校教育におい

計画（データヘルス計画）に基づき、生活習慣病の重症化予防とポピュレーションアプローチ（広く町民を対象に周知・啓発する取り組み）を組み合わせ、町民のみなさんとともに健康増進に取り組んでいきます。

さらに、若い世代からの健康づくりを推進するため、由仁っ子健診などについても継続実施していきます。

このほか、国民健康保険制度は、今年4月から都道府県が運営主体となることから、北海道と連携して新制度に基づく事業運営に向けて市町村の役割である適切な賦課徴収と保険給付、保健事業の推進に取り組んでいきます。

2 安心して子供を育てることが できる環境づくりの推進

子供は、町の未来を担う大切な宝です。この大事な宝の健やかな育ちを実現するため

では、小学校3年生から外国語活動が導入されるなど、教育を取り巻く環境が大きく変容していることから、知識や技能、さらには思考力や判断力、表現力をバランスよく育成するため、国際的視野を養う英語活動の新たな教育施策の検討を進めながら、学力および体力の一層の向上を目指す学校づくりに取り組んでいきます。

また、学校給食では、4月に供用を開始する新しい給食センターで、より一層安全・安心な学校給食を提供していきます。

5 芸術・文化・スポーツの 推進とふるさとへの歴史・ 文化の継承

文化の継承

町民のみなさんの文化・芸術活動の拠点としてご利用いただいている由仁町文化交流館（ふれーる）は、今年度から施設の管理運営について、指

には、保護者や地域のみなさんが安心して子育てを行うことができる環境づくりが必要とです。より良い幼児教育・保育を実現するための認定こども園は、2020年4月の開設を目指し、協議を進めていきます。

また、政府は、2019年度から消費税増税分を財源とした「幼児教育・保育の無償化」を進めることを打ち出しています。

今年度も、国や北海道が実施している保育料軽減支援対策に上乗せして、町独自施策として拡充実施している保育料の軽減支援施策について、一部見直しを行いながら、継続して実施していきます。

3 高齢者・障がい者福祉の 充実

高齢化が進む当町において、団塊の世代が75歳以上になる2025年を見据えて策定し

定管理者制度を導入し、由仁町社会福祉協議会を指定しました。

今後は、隣接する健康元気づくり館と併せた管理運営による効率化を目指しながら、サービスの向上に努めます。

VI 生活・安心



1 コンパクトな まちづくりの推進

人口減少対策として、次世代を担う若者や子供の人口減少の抑制を図ることが重要とされ、その世代が当町に住みたくなるまちづくりが求めら

た「由仁町地域包括ケアシステム」のあり方」や「高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画」に基づき、医療提供サービスの充実をはじめ、町内医療機関と一層の連携を図り、医療と介護の切れ目のないサービス展開を図ります。

また、認知症の方やその家族、地域のみなさんの誰もが集うことができる「認知症カフェ」の設置を促進するほか、行方不明になった認知症の方を発見するためのGPSシステム利用に対する一部助成を新たに行うなど、認知症施策を一層推進していきます。

さらに、自立を支える生活支援の担い手の掘り起こしや生活支援ボランティアの活動を支援するとともに、「地域支え合い活動の推進に関する条例」に基づく地域活動を推進し、生活支援体制の強化を図るなど、高齢者が地域で生きがいをもち、安心して暮らせるまちを目指し、地域包括ケ

れています。その中で住宅は生活の基盤であり、誰もが安心して暮らすことができる環境を整えなければならぬと考えています。

特に、公営住宅は、お年寄りや子育て世帯が安心して暮らせる住宅の役割を担っています。

今年度も「由仁町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、由仁地区のあけぼの団地1棟3戸を建設します。

2 自然環境の保全と 環境衛生の充実

空き家対策については、空き家の状況把握や安全面を含む管理指導を進めていきます。

また、千歳市など2市4町で構成する道央廃棄物処理組合で進めている焼却施設建設は、2024年4月からの稼働に向け、計画的に進められているところであり、今年度は、建設用地の取得を進める

予定です。
さらに、自然豊かな環境の公園は、日常生活に潤いやゆとりを与える憩いの場として利用されるものと考えています。

町民の憩いの場としての古山貯水池自然公園や伏見台公園など、安全で楽しく利用できるような適切な維持管理に努めます。

3 生活基盤の整備による安心・安全の向上

私たちが生活する上で欠かせない上下水道、日常生活で利用する道路や橋梁は、生活と切り離すことができない基盤、いわゆるライフラインです。

この生活の基盤となる施設は、経年による老朽化が進んでいる状況にあることから、優先順位を定め保全のための修繕や更新を進めなければならないと考えています。

今年度、道路については「過疎地域自立促進計画」に基づき町道の整備を、橋梁は「由仁町橋梁長寿命化修繕計画」に基づき2橋の補修を進めていきます。

また、上水道は、道道に昇格した山柵線の改良および経営体育成整備事業西三川地区の事業に伴う配水管の布設替工事を、下水道は、昨年度から着手しました由仁・三川・川端の3処理施設の機器等更新工事を進めています。

さらに、上水道事業および下水道事業の両会計は、昨年度に引き続き経営の効率化を図ることとし、特に上水道事業は、安定的な経営の運営と将来の老朽管更新のために料金の見直しを進めます。

4 最適な地域公共交通体系の整備

町民の日常生活を支える交通手段のひとつであるデマン

係者に対しましては、より実践に近い訓練として図上模擬訓練を実施したところです。
防災運動会は、今年、岩内自治区で実施を予定しています。

今後も形骸化に注意しながらより役立つ訓練を実施し、町民のみなさんの防災意識向上を図るとともに、体制の整備に努めます。

さらに、洪水対策、治水や利水対策として、北海道が事業主体となって由仁川やヤリキレナイ川の河川改修工事を進めており、今年度は、北海道からの受託事業として、道道から由仁神社へ向かう町道で、ヤリキレナイ川に架かる神楽橋の架け替え工事に着手します。

VII おわりに



以上、今年度の町政運営にあたり、私の所信と施策の概要について申し上げます。

今年度は北海道と命名されてから150年を迎える年でもあります。積み重ねてきた先人の偉業を振り返り、由仁町の未来を見据えたまちづくりにしっかりと取り組んでいきますので、より一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。町政執行方針といたしま

ドタクシー事業は、高齢者の生活の足としてご利用いただいています。地域の要望を踏まえ、運行区域と運行便数の一部見直しを行い、より効率的な運行に取り組んでいきます。

5 安全・安心な生活の基盤となる消防・救急・防災体制の充実および交通安全・防犯の推進

災害から町民の生命と財産を守り、コミュニティの安全と安心を高めるため、消防体制の充実を図り、災害に強いまちづくりを推進してまいります。

常備消防体制の整備では、由仁小学校前の消火栓を整備し消防水利の充実を図ります。
また、空気呼吸器や救急隊員感染防止衣などの救急救助資機材を整備し、災害出動態勢の強化と多様化する救急業務に対応するため救急救命士

の資質向上を推進し、救命率の向上に努めます。

非常備消防体制で地域防災の中核となる消防団員の確保を推進し、消防団の活性化と組織の強化に取り組んでいきます。

近年、当町は大きな災害に見舞われていないとはいえ、いつ起こるかわからないのが災害です。そして、災害の発生直後に頼りになるのは、「自助・共助・公助」と言われているように、自身や家族、近所の方々といった地域のみなさんです。

そういったことから、今後も自治区連合会およびその事務局である社会福祉協議会とも連携しながら、災害に強い地域づくりを進めていきます。

また、これまで5年間にわたって実施してきた総合防災訓練に代わり、新しい取り組みとして、昨年は東三川自治区のみなさんの協力を得て防災運動会を実施しました。関

働くみんなに、大きな安心。

中退共は、半世紀で100万社以上の中小企業にご利用いただいている国の退職金制度です。

中退共 中小企業退職金共済制度

安全 国の制度だから安心
新規加入や掛金を増額する場合、掛金の一部を国が助成します。

有利 掛金は全額非課税
手数料もかかりません。

簡単 社外積立で管理も簡単
納付状況や退職金試算額を事業主さんにお知らせします。

詳しくはホームページをご覧ください。

中退共 (独)勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1
TEL.03-6907-1234 FAX.03-5955-8211

教育行政執行方針



はじめに



教育行政の推進に当たっては、「由仁町総合教育会議」を通じて、町長との連携強化を図り、教育施策の方向性を共有しながら、町民のみなさんの意思を反映した教育行政を推進することが必要とされています。

無限の可能性を持ち、本町で生まれ育つ子供たちが、ふるさと由仁への誇りと愛着を持ちながら、社会の変化に主体的に向き合い、視野を広げ、新しい時代を切り拓く力を身に付けてたくましい人材に育っていくことが重要になります。

無限の可能性を持ち、本町で生まれ育つ子供たちが、ふるさと由仁への誇りと愛着を持ちながら、社会の変化に主体的に向き合い、視野を広げ、新しい時代を切り拓く力を身に付けてたくましい人材に育っていくことが重要になります。

そのため、課題とされる子供たちの学力・体力の向上、望ましい生活習慣の定着、いじめや不登校への対応、安全・安心な教育環境の整備充実を図っていくとともに、すべての町民のみなさんが、生涯にわたって生き生きと学べる教育環境づくりを進めるため、学校・家庭・地域との連携を図りながら、積極的に施策を講じていきます。

II 主要施策の推進



1 一人ひとりの個性や能力を伸ばす教育の推進

子供たちが、これからの社会を生き抜いていく力を身に付けるためには、基礎的な知識や技能、さらには思考力や判断力、表現力などをバランスよく身に付け、個性や能力を伸ばしていくことが重要です。

全国学力・学習状況調査や標準学力テストなどの結果により、生活・学習習慣を把握するとともに、各学校と由仁町学力向上委員会で改善策を

講じ、放課後学習や長期休業期間中の個別指導などを実施しながら、小中学校において全教科の調査結果が全国平均以上となるよう、学力向上に努めます。

また、家庭学習に自ら取り組む姿勢や規則正しい生活習慣が、学力向上にとっての基本でもあることから、学校生活を通じての指導や家庭との連携により、子供たちの学習意欲の向上や生活習慣の確立を図ります。

特別支援教育については、子供たちの能力や可能性を最大限に伸ばすことができるよう、個々の教育的ニーズに対応した指導と子供の将来を見据えた支援体制の充実に努めます。

2 豊かな人間性を育む教育の推進

子供たちが、命の大切さや自己を認め他人を思いやる心、

守らなければならない規範意識などを養うとともに、たくましく豊かな心と身体を育むことは極めて重要です。

そのため、郷土への理解や道徳教育の充実を図るとともに、ボランティア活動や農業体験学習、職業体験活動など、地域の人たちとの触れ合いや交流の機会を通して、豊かな人間性や社会性を育んでいきます。

いじめの防止や児童生徒の不登校問題については、望ましい人間関係の醸成や未然防止、早期発見、早期解決に向け、迅速かつ適切に対処していきます。

また、子供たちが出す小さなサインを見逃さず、家庭と学校が連携を密にしておくことが不可欠であることから、スクールカウンセラーや教育相談員を配置し、学校全体で取り組む体制の充実に努めるとともに、インターネットやSNSなどによるネットトラ

ブルの防止に向け、学校での情報モラル・マナーの指導や家庭でのルールづくりを促進していきます。

体力と運動習慣の向上に向けては、全学年で新体力テストを実施するとともに、学校における運動習慣の定着を図るなど、健やかな身体の育成に努めます。

小学校におけるフッ化物洗口や、中学2年生を対象としたピロリ菌検査についても継続実施し、子供たちの健康維持に取り組んでいきます。

このほか、地域や家庭と連携した通学路の安全点検や見守り活動を展開していくとともに、子供たち自身に危険予測や回避能力を身に付けさせるため、各学校において交通安全教室や防犯教室、避難訓練などを実施していきます。

学校づくりには、保護者や地域住民からの厚い信頼と協力を得ながら、地域に根ざした開かれた学校であることが

大切です。

このため、毎年11月1日を「ゆに教育の日」とし、町民の誰もが参観できる「一斉公開授業」を実施するとともに、小中学生の交流を目的に学校生活の課題、将来の夢などを語り合う「夢づくり子ども教育委員会」を開催します。

また、小中学校が目指す子供像を共有し、9年間を通じて教育課程を編成して系統的な教育を行う「小中一貫教育」を進めるため、検討組織を設置して具体の計画づくりを進めていきます。

学校教育においては、教員の指導力が強く求められます。このため、校内研修の実施はもとより、道立教育研究所や空知教育センターが実施する各種講座や研修会への一教員一参加以上の積極的な出席を促すとともに、町内の教職員が組織する教育振興会への支援を継続するなど、教職員の資質能力の向上に努めます。

3 安全で安心な地産地消による学校給食の充実

本年完成し、4月に供用を開始する新しい学校給食センターでは、より一層安全・安心な学校給食を提供していきます。

また、食に関する正しい知識や望ましい食習慣の定着を図るため、栄養教諭を中心とした食育指導のほか、地産地消の観点から、町とJAの協力により、地元産の農産物などを活用する特別給食「由仁のもの学校給食」を継続していきます。

4 国際化・情報化に対応した人間性豊かな人材の育成

2人のALT（外国語指導助手）の配置により、就学前から中学校まで継続的に英語に触れる機会を確保し、また、小学校では、本年度より3年生から外国語活動が導入され

ることから、学校での英語や外国語活動において、より一層の実践的英会話の指導を行う取り組みを継続していきます。

英語力向上と国際的な視野を養うことを目的とし、中学生をオーストラリアに派遣する「ゆめつく21ジュニア海外派遣事業」については、年々、希望者が減少しており、一定の役割を終えたことから、今年度の派遣を最後とし、新しい学習指導要領や大学入試制度など、変化する教育環境に対応する新たな教育施策の検討を進めていきます。

子供たちが健やかに成長するためには、家庭や学校だけではなく、地域全体で子供を育てることが不可欠です。

また、社会が急激に変化する中、関係機関が連携して子供たちを守り育てていくためには、家庭や地域など、社会の幅広い教育機能を活性化していくことが重要であるため、

「家庭教育講話（親学講座）」を実施し、親の心構えや役割などを学習する場を提供していきます。

各種事業の推進にあたっては、これまでも水泳やスキーの授業補助、登下校時の安全指導や学校行事での協力など、地域の方々にボランティアとして協力していただいているが、引き続き、地域全体で学校を支援する体制を構築するとともに、星槎道都大学との連携協定や近隣大学との連携をより効果的なものとするため、各学校での授業サポートや各種事業への学生参加を積極的に促していきます。

さらに、「がんばれ子ども応援基金」を活用し、スポーツや文化活動における由仁の子供たちの活躍を継続して支援していきます。

町民のみなさんの潤いのある生活と活力ある地域づくりを推進するためには、町民のみなさんが生涯を通じて積極

的に学び、その成果を生かせる環境をつくることが重要です。

これから先も幸せな人生を歩む「幸福者」を目指す高年齢者大学「ユニ・カレッジ」を開講するほか、女性の社会参加を目的とした女性サークル「きらっとLife（ライフくつなぐ）」では、女性のニーズに対応した内容の各種講座を開催するなど、総合的な学習機会の提供と自主的な活動の支援を推進し、豊かな人材育成に努めます。

ゆめつく館については、すべての町民の生涯学習を支える知の拠点として、資料の充実と保存、情報提供に努めるとともに、「由仁町子どもの読書活動推進計画」に基づき、すべての子供たちが自主的に読書活動ができるよう、積極的にその環境整備を図ります。

また、ゆめつく館を含む社会教育施設の有効かつ効率的な管理運営を目指し、指定管

理者制度などアウトソーシングを積極的に検討します。

5 生活に潤いと豊かさをもたらす文化芸術活動に係る施設の整備および有効活用

文化芸術やスポーツ活動は、人々に感動や生きる喜びをもたらし、豊かな人生を送る上で大きな力となり、地域活性化の基盤ともなり得るものです。

このため、文化連盟に所属する各種団体や、サークル団体による自主的な活動や由仁町文化祭に対する支援のほか、文化芸術活動が広く町民に親しまれ、継続的に展開されるよう協力していきます。

由仁町文化交流館ふれーるは、文化・芸術活動の拠点として利用されていますが、本年4月から管理運営について、指定管理者制度を導入し、由仁町社会福祉協議会を指定しました。

今後も、既に指定管理を行っている健康元気づくり館やほほえみの家に接続するメリットを生かした一体管理による効率化を目指しながら、サービスの向上に努めます。

また、文化交流館事業実行委員会が企画・運営する鑑賞型事業に対して支援するなど、多くの町民のみなさんが様々な文化・芸術活動に触れる機会の提供に努めます。

スポーツ活動の推進については、子供から高齢者まで一人ひとりが生涯にわたってスポーツに親しみ、参加できる機会の提供と、体育協会や各加盟団体の活動支援を通じ、指導者の育成とスポーツ人口の底辺拡大に努めます。

また、総合型地域スポーツクラブである由仁スポーツクラブと連携した各種事業の実施・支援・協力を行い、体力向上や健康の保持増進対策を図ります。

III むすびに



教育委員会としましては、次代を担う子供たちや、地域を支える人たちが、夢や希望を持って未来へ前進できるように、「すべては子供たちのために」、学校・家庭・地域・行政との連携の下、一丸となって当町教育の一層の充実・発展に向けて全力で取り組んでいきます。

町議会議員のみなさん並びに町民のみなさんのご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。平成30年度の教育行政執行方針といたします。



平成30年度 予算の概要

町の予算が、平成30年由仁町議会第一回定例会で可決されました。その概要についてお知らせします。

各会計 84億2,794万6千円

一般会計の予算額は47億6,260万9千円で、昨年度の予算額と比べると、17%、9億5,829万1千円の減額となり、国民健康保険会計や診療所会計、水道会計などの特別会計と一般会計の予算額の合計は84億2,794万6千円で12%、11億4,600万円の減額となっています。

一般会計の予算額が大きく減額となった理由は、前年度に実施した給食センター改築事業がほぼ終了したためです。

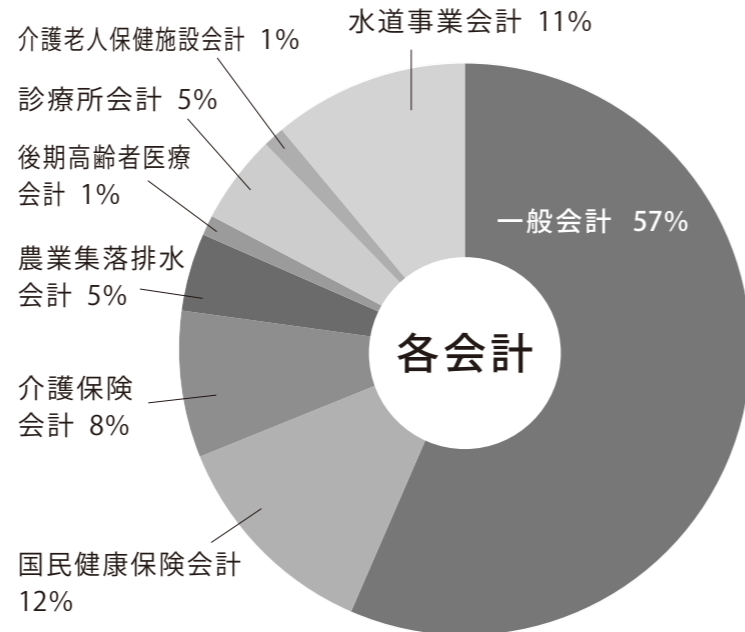
町の歳入の約5割を占める地方交付税は、前年度との比較で1億4,008万5千円の減額と大きく落ち込むことが見込まれたことから、事務事業評価を実施し、歳出の削減に取り組みました。

しかし、前年度とほぼ同額の財源不足が生じたことから、町の貯金である基金を取り崩し、繰入金を2億8,429万円とする厳しい財政運営となっています。

限られた財源を有効活用し、最少の経費で最大の効果を生み出すため、町民のみなさんと行政の協働により、まちづくりを進めていきます。

☎ 総務課庶務・財政担当

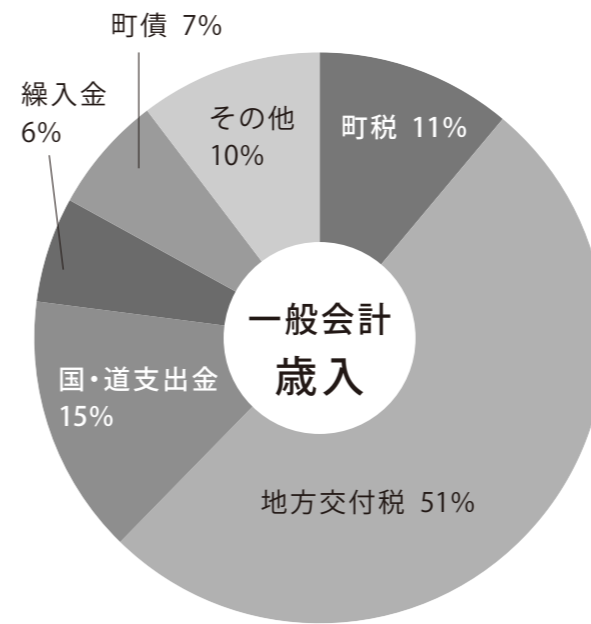
☎ 0123-83-2111



(単位：千円、%)

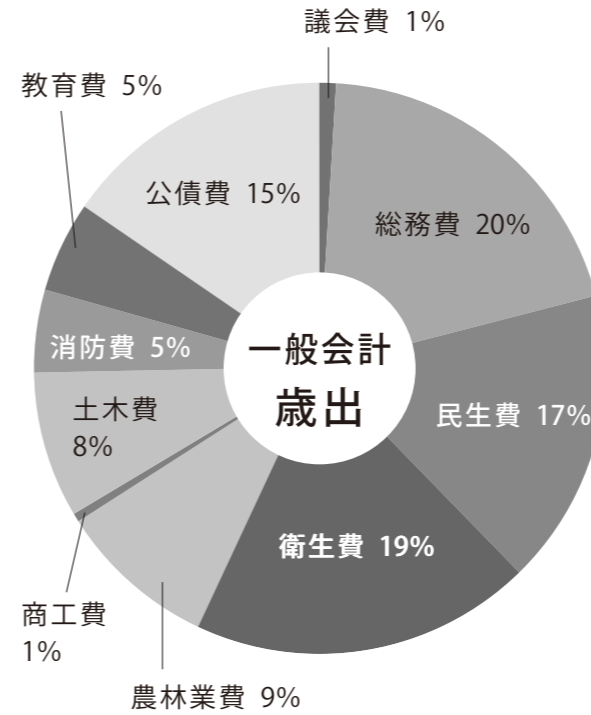
会計名	平成30年度当初	昨年度との比較	伸率
一般会計(A)	4,762,609	△958,291	△16.8
特別会計			
国民健康保険会計	1,042,282	△261,284	△20.0
介護保険会計	698,775	75,147	12.0
農業集落排水会計	371,503	△13,791	△3.6
後期高齢者医療会計	95,958	8,913	10.2
診療所会計	423,085	皆増	皆増
介護老人保健施設会計	101,549	皆増	皆増
小計(B)	2,733,152	333,619	13.9
企業会計			
水道事業会計	932,185	△5,532	△0.6
↓収益的支出	548,297	△80,718	△12.8
↓資本的支出	383,888	75,186	24.4
病院事業会計	—	皆減	皆減
↓収益的支出	—	皆減	皆減
↓資本的支出	—	皆減	皆減
小計(C)	932,185	△521,328	△35.9
合計(A+B+C)	8,427,946	△1,146,000	△12.0

一般会計 47億6,260万9千円



(単位：千円、%)

項目	平成30年度当初	昨年度との比較	伸率
町税	527,833	△17,093	△3.1
地方交付税	2,440,000	△140,085	△5.4
国・道支出金	700,809	△75,460	△9.7
繰入金	284,290	△2,781	△1.0
↓財政調整基金	116,218	△93,782	△44.7
↓その他	168,072	91,001	118.1
町債	316,900	△772,500	△70.9
その他	492,777	49,628	11.2
合計	4,762,609	△958,291	△16.8



(単位：千円、%)

項目	平成30年度当初	昨年度との比較	伸率
議会費	44,883	△100	△0.2
総務費	954,491	△10,895	△1.1
民生費	797,071	30,320	4.0
衛生費	916,199	18,215	2.0
労働費	53	△6	△10.2
農林業費	427,328	6,152	1.5
商工費	23,088	△10,396	△31.0
土木費	393,685	△66,162	△14.4
消防費	223,612	△2,936	△1.3
教育費	246,464	△795,672	△76.4
災害復旧費	10	0	0.0
公債費	733,725	△126,811	△14.7
予備費	2,000	0	0.0
合計	4,762,609	△958,291	△16.8



平成30年度予算の概要

主な予算内容



安全・安心の快適で暮らしやすいコンパクトなまちづくりの実現

■コンパクトなまちづくりの推進

町営住宅の建設 …… 1億764万3千円
 (新規) あけぼの団地建設工事 …… 9,167万3千円
 (新規) 北栄団地解体除却工事 …… 600万円
 古川団地屋根等改修工事 …… 522万8千円
 町営住宅等の管理運営 …… 945万6千円

■自然環境の保全と環境衛生の充実
 衛生環境確保対策 …… 90万円
 南空知公衆衛生組合への負担 …… 9,360万円
 道央廃棄物処理組合への負担 …… 293万8千円
 し尿処理 …… 2,258万5千円
 南空知葬斎組合への負担 …… 745万円
 合併浄化槽設置整備事業 …… 396万5千円
 公園や緑地の保全 …… 486万7千円

■生活基盤の整備による安心・安全の向上

道路・橋梁の維持補修 …… 5,007万1千円
 古川住宅団地内排水補修工事 …… 118万8千円
 伏古通り線排水補修工事 …… 177万2千円
 道路・橋梁の除排雪 …… 9,935万6千円
 (新規) 除雪トラックの更新 …… 4,216万2千円
 道路の新設改良 …… 1億1,900万円
 (新規) 由仁神社線神楽橋架換工事 …… 6,100万円
 (新規) 西谷地線道路防塵処理工事 …… 300万円
 第1太田線道路改築工事 …… 4,089万4千円
 由仁高校線歩道造成工事 …… 1,300万円
 河川の管理 …… 31万8千円
 上水道事業の運営 …… 9億3,218万5千円



当町の強みを活かし持続的な発展の実現

■農業の持続的な発展

強い農業経営体育成事業 …… 604万2千円
 農業次世代人材投資事業 …… 300万円
 縁結び支援事業 …… 92万円
 有害鳥獣の駆除 …… 538万7千円
 農業経営基盤強化資金利子補給 …… 158万4千円
 経営所得安定対策等推進事業 …… 600万円
 中山間地域直接支払対策事業 …… 5,047万5千円
 多面的機能支払推進対策 …… 1億7,063万4千円

環境保全型農業直接支援対策 …… 827万6千円
 道営農業農村整備事業 …… 957万6千円
 (新規) 耕地利用高度化推進事業 …… 720万円
 国営造成施設管理体制整備促進事業 …… 663万7千円
 森林・山村多面的機能発揮対策事業 …… 11万4千円
 未来につなぐ森づくり推進事業 …… 38万3千円

■地域の特性に応じた商工業の推進

企業誘致の推進 …… 27万2千円
 商工振興事業 …… 813万円
 商工会共通商品券拡販推進事業 …… 320万円



20億6,700万3千円

(新規) ヤリキレナイ川改修支障水道管工事 …… 3,831万円
 (新規) 経営体西三川地区支障水道管工事 …… 2,772万6千円
 道道東三川由仁停車場線支障水道管布設替工事 …… 3,458万5千円
 水道量水器取替工事 …… 1,683万2千円
 農業集落排水事業の運営 …… 2億950万3千円
 集落排水施設機能強化事業 …… 1億6,200万円

■最適な地域公共交通体系の整備
 生活交通路線の維持 …… 280万円
 デマンドタクシーの運行 …… 279万2千円

■安心・安全な生活の基盤となる消防・救急・防災体制の充実および交通安全・防犯の推進
 南空知消防組合への負担 …… 2億2,361万2千円
 災害対策事業 …… 335万2千円
 交通安全対策の推進 …… 861万円



3億2,852万8千円

■優位性・地域特性を活かした力強い地域産業の創造

ふるさと寄附金の活用によるPR …… 3,004万2千円
 やっぱり由仁のものがいい推進事業 …… 151万1千円

■観光施設との連携による交流人口の拡大
 夏まつり開催事業 …… 108万円
 観光協会運営事業 …… 126万円
 観光施設運営 …… 656万4千円
 観光施設の美化 …… 24万1千円



安心で安全な医療・福祉の推進と豊かな人間性を育む教育の推進

■安心で質の高い医療サービス・保健活動の推進

(新規) 町立診療所の運営 …… 4億2,308万5千円
 (新規) スプリンクラー設置工事 …… 3,171万円
 健康推進・地域活性化試行的事業 …… 110万円
 特定健診の実施 …… 788万4千円
 基本健診等の疾病予防対策 …… 616万6千円
 健康教育の実施 …… 40万1千円
 がん検診等の実施 …… 790万2千円
 子供の健康診査 …… 161万7千円
 子供の予防接種 …… 849万4千円
 国民健康保険事業の運営 …… 10億2,819万7千円
 後期高齢者医療事業の運営 …… 9,595万8千円

■安心して子供を育てることができる環境づくりの推進
 由仁っ子医療費の給付 …… 1,524万9千円
 ひとり親家庭等医療費の給付 …… 328万5千円
 養育医療の給付 …… 52万1千円
 妊婦の健康増進 …… 226万3千円
 妊婦安心出産支援 …… 38万2千円
 児童手当の支給 …… 6,218万円
 子育て支援センターの運営 …… 69万7千円
 栗山町子ども発達サポートセンター運営費の負担 …… 158万4千円
 児童発達支援事業等利用者負担助成 …… 33万3千円
 保育園の運営 …… 4,482万8千円

多子世帯に対する保育園保育料の負担軽減 …… 229万8千円
 私立幼稚園就園奨励 …… 509万2千円
 放課後児童健全育成対策 …… 322万8千円

■高齢者・障がい者福祉の充実
 地域サロン開設補助事業 …… 35万4千円
 認知症総合支援事業 …… 62万7千円
 認知症カフェ運営事業 …… 44万7千円
 高齢者予防接種の実施 …… 386万6千円
 高齢者事業団事務局人件費補助 …… 232万円
 介護予防事業の実施 …… 1,665万円
 介護保険事業の運営 …… 6億7,570万6千円
 (新規) 介護老人保健施設事業の運営 …… 1億154万9千円
 配食サービス …… 509万8千円
 生活支援体制整備事業 …… 10万5千円
 老人クラブ運営補助 …… 106万3千円
 居宅サービスステーション運営補助 …… 469万7千円
 老人保護措置費 …… 2,573万6千円
 地域支え合い活動 …… 42万円
 除排雪サービス事業 …… 172万5千円
 社福法人等介護サービス利用者負担軽減 …… 24万6千円
 障がい者支援 …… 2億1,579万8千円
 福祉タクシー …… 20万9千円
 身障福祉協会活動事業 …… 4万7千円
 重度心身障がい者医療費の給付 …… 1,783万5千円
 消費者被害の防止 …… 73万円

■豊かな人間性を育む学校・社会教育の推進

小・中学校の管理運営 …… 2,982万5千円
 学校環境の改善 …… 47万6千円
 スクールバスの運行等 …… 4,891万5千円
 学校特別支援員の配置 …… 479万8千円
 学校給食センターの運営 …… 6,500万6千円
 学校給食センターの改築 …… 528万5千円
 外国語指導助手の配置 …… 957万1千円
 特色ある学校づくりへの支援 …… 41万円
 要保護および準要保護児童生徒就学援助 …… 304万6千円
 社会教育施設の管理運営 …… 2,693万8千円
 ゆめつく21ジュニア海外派遣 …… 267万2千円
 PTA連合会を支援 …… 8万円
 青少年育成協議会を支援 …… 35万円
 星を見る会への支援 …… 6万円
 文化祭実行委員会への支援 …… 28万2千円
 ユニ・カレッジの開講 …… 11万9千円
 女性セミナー「フィーカ」の開催支援 …… 13万5千円

■芸術・文化・スポーツの推進とふるさと歴史・文化の継承
 がんばれ子ども応援事業 …… 60万円
 文化交流館事業実行委員会への支援 …… 112万5千円
 体育施設の管理運営 …… 2,929万8千円
 ソフトボール大会開催 …… 4万円
 体育協会の活動を支援 …… 21万2千円
 スポーツ少年団の活動を支援 …… 48万円
 スポーツクラブの活動を支援 …… 15万円



地域協働型のまちづくりの実現

■住民参加の促進と地域コミュニティの構築
 自治区活動費交付金の交付 …… 185万円
 ふるさと創造事業 …… 30万円

■移住・定住の促進
 移住交流支援センターの運営等による移住の促進 …… 616万5千円
 地域おこし協力隊の活用 …… 776万5千円
 やっぱり由仁定住応援金 …… 467万8千円

やっぱり由仁若者定住応援金 …… 88万円

■連携・協働・交流による地域づくりの推進
 南空知4町地域連携事業 …… 118万7千円
 江別市内4大学学生地域定着推進事業 …… 29万9千円
 旧学校施設利活用支援事業 …… 91万8千円
 社会福祉協議会運営費補助 …… 1,153万4千円
 交流バスの運行 …… 360万1千円

9,628万3千円

遺族会運営費補助 …… 4万円
 民生委員協議会活動費補助 …… 188万1千円
 福祉施設の管理運営 …… 5,465万9千円

■次世代を担う人材の育成
 若者担い手育成塾の開講 …… 15万6千円
 成人式の開催 …… 12万円
 職員研修の実施 …… 25万円



卒園式



卒業式





3/2 桃の節句
楽しいひな祭り

3月2日、由仁・三川保育園でひな祭り楽しみ会が開かれました。園児たちは、桃の花や五人ばやしをひな壇の中から探したり、おやつ時間に「ひなあられ」を味わうなど、楽しい時間を過ごしました。

由仁幼稚園でも3月5日に行われ、園児たちは、おだいり様とおひな様に仮装しリレー競走をしたり、白酒の代わりにカルピスを飲むなど、ひな祭りを楽しみました。

3/9 鷹祥永さん、北海道
スポーツ奨励賞を受賞

鷹祥永さん（由仁中学校3年）が、スポーツ競技会で特に優れた成績を収めた個人や団体に贈られる「北海道スポーツ奨励賞」を受賞し、3月9日に由仁中学校で賞状とメダルが授与されました。

今回の受賞は、ジュニアオリンピック陸上競技大会男子100mで2年連続全国優勝が評価されての受賞となりました。

鷹さんは「中学校最後の思い出として大きな賞をいただきとても嬉しかった。高校に行っても、この賞に恥じることはない成績を残せるよう努力していきたい」と力強く話していました。



3/16 アルペンスキーで
ジュニアオリンピック出場

嘉屋美咲さん（由仁中学校1年）が、アルペンスキーのジュニアオリンピックへの出場を決めました。

嘉屋さんは、1月上旬から各地で行われた全日本スキー連盟公認大会を転戦し、北海道代表となりました。ジュニアオリンピックへの出場は3年連続になります。

出場報告のため役場を訪れた嘉屋さんは「今年は高校1年生や中学2・3年生のトップ選手と戦わなくてはならないが、入賞を目指して、思いきった滑りをしたい」と抱負を語りました。

大会は3月22日から岩手県雫石町で開催され、大回転と回転の2種目に出場します。

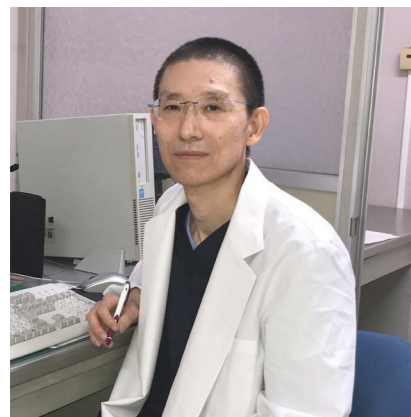
3/2 石川さん、空知しんきん
基金文化賞を受賞

南空知管内の地域文化の振興や地域社会の活性化に貢献する活動を表彰する公益財団法人空知しんきん産業文化振興基金の文化賞を、石川一男さん（本町）が受賞しました。

昭和43年から、民謡、三味線の指導に尽力し、日本一、全道一の教え子を数多く輩出しているほか、全道各地での慰問活動などが認められ、今回の受賞となりました。

3月2日に行われた授賞式に参加した石川さんは「長年続けてきた活動を評価していただき、とても嬉しく思っている。これからも民謡、三味線を多くの方々に楽しんでいただけるよう活動していきたい」と話しました。





これからもお世話になります
 所長に就任しました
 こばた じゅんいち
小端 順一 です

町立診療所医師を 紹介します

住民に寄り添い…



はじめまして
 かかりつけ医として
 お世話になります
 しまた ひろし
島田 啓志 です

小端医師
 から

町立診療所長の齋藤有医師の定年により、4月から所長になりました。今年度から採用となった島田医師と地域医療の充実に向け、診療所の運営をしていきますのでよろしくお願いいたします。

島田医師
 から

■**専門資格** 家庭医療専門医・指導医、総合内科専門医、在宅医療専門医、緩和医療認定医・指導医

■**これまでの経歴** 砂川市出身。札幌医科大学を卒業後は、家庭医になるため長野の佐久総合病院で勤務しました。3年間は、人口3,000人の中山間地域の診療所で所長を務め、村内50人の患者さんに24時間体制で在宅医療を行いました。診療のほかに、医療座談会で保健師と各地区を巡回したり、村の健康まつりに参加するなど、地域活動のいろはを学びました。専門医を取得した後は、北海道に戻り、札幌市東区の家庭医療クリニックに転職。札幌ではかかりつけ医として、小児から高齢者まで様々な方に、外来診察と在宅医療を実践しました。村では、高齢で通院が大変なため在宅医療をうける方が多かったのに対して、札幌では、自宅での緩和ケアを希望される末期がんの患者さんが多かったです。自宅での最期に主治医として関わる中で、患者さんの人生から、人間として、医師として大切なことを教えていただいた3年間でした。

■**由仁町を選んだ理由** 由仁町には、札幌へのアクセスが良い点で可能性を感じています。高度専門治療ではどうしても大病院に勝ることはできませんが、大病院にも弱点はあります。それは、在宅医療を含む地域包括ケアです。町立診療所がその役割を担うことができれば、みなさんは都市部の高度医療と診療所の細やかな地域包括ケアの両方を享受できるでしょう。そのようなことを夢見て、由仁町に赴任を決めました。これまでの経験を糧に、目の前の患者さんと真摯に向き合い、みなさんに安心・信頼していただけるような診療を心がけます。由仁町1年生として地域のことを教えていただきながら、医療福祉介護を地域のみなさんと一緒に考えていきますので、よろしくお願いいたします。

■**由仁町を選んだ理由** 由仁町には、札幌へのアクセスが良い点で可能性を感じています。高度専門治療ではどうしても大病院に勝ることはできませんが、大病院にも弱点はあります。それは、在宅医療を含む地域包括ケアです。町立診療所がその役割を担うことができれば、みなさんは都市部の高度医療と診療所の細やかな地域包括ケアの両方を享受できるでしょう。そのようなことを夢見て、由仁町に赴任を決めました。これまでの経験を糧に、目の前の患者さんと真摯に向き合い、みなさんに安心・信頼していただけるような診療を心がけます。由仁町1年生として地域のことを教えていただきながら、医療福祉介護を地域のみなさんと一緒に考えていきますので、よろしくお願いいたします。

☎町立診療所 ☎0123-83-2031



未来に続く公共交通 ～みんなの利用で支えよう～

苫小牧市・安平町・岩見沢市・栗山町・由仁町は
 JR室蘭線の利用促進に取り組んでいます

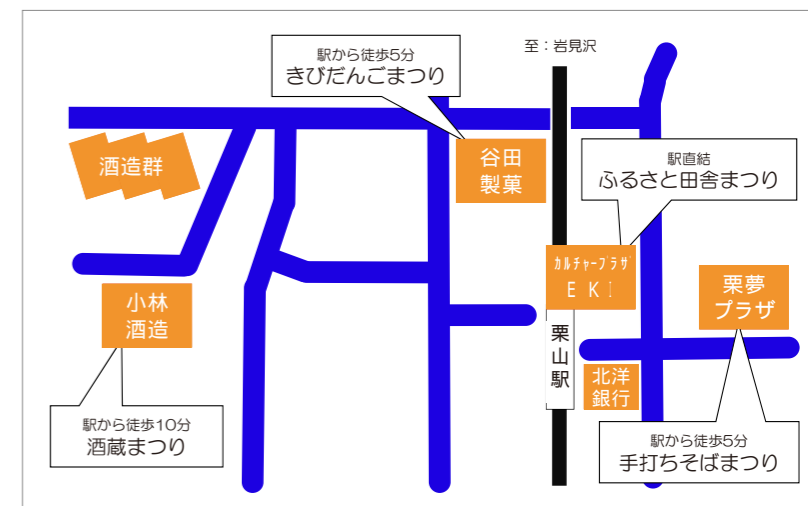
室蘭沿線4月のイベント

★ 2018 くりやま老舗まつり

日時 **4/14(土)・15(日)** 10時～16時
 15日(日)は15時まで

- 北の錦酒蔵まつり
- きびだんごまつり
- ふるさと田舎まつり
- 本格手打ちそばまつり

隣町、栗山町の春は、老舗まつりとともにやってきます。普段、入ることのできない酒蔵の一般開放や、きびだんご作りを見学できます。近隣市町の飲食店ブースが立ち並ぶ「ふるさと田舎まつり」では、由仁町から東京ホルモン、ユニゾートなど多くの企業が出展します。例年、会場周辺の道路は混雑しますので、JR室蘭線を利用してみてはどうでしょうか？



くりやま老舗まつりに

★ JR室蘭線で行こう！

くりやま老舗まつりの当日は
 JR室蘭線の岩見沢～追分間で
 臨時列車を運行します。

【下り】岩見沢方面

	三川	古山	由仁	栗山
通常	9:22	9:27	9:32	9:38
臨時	10:20	10:25	10:30	10:35
臨時	12:58	13:03	13:08	13:15

【上り】苫小牧方面

	栗山	由仁	古山	三川
臨時	11:30	11:36	11:41	11:46
通常	13:15	13:21	13:26	13:31
通常	15:29	15:36	15:41	15:46
通常	16:56	17:02	17:08	17:12

※時刻が変更になる可能性がありますので、事前に
 JR北海道ホームページでご確認ください。

➡ <https://www.jrhokkaido.co.jp>



由仁町のみなさんへお礼

由仁町地域おこし協力隊 今 尚章

由仁町地域おこし協力隊
隊員だより 第45号
第2期協力隊卒業記念特集

2015年7月に由仁町地域おこし協力隊として札幌から移住し、ゆにガーデンのファーマーズマーケットでの研修から始まり、由仁のものを扱うインターネットショッピングサイト「由仁のものがe-Shop」の管理・運営、そして最終年度は、由仁町の顔であるポッポ館で観光案内などを行ってきました。

その間には、農家さんにお邪魔していろいろなお話を聞いたり、移住体験ツアーのお手伝いをしたり、また初めて田んぼに入る中学生に、同じく初めて田んぼに入る私が拙い説明をしたり・・・と、これまで経験できなかったことをたくさんさせていただきました。

普段ポッポ館を利用し、気さくに話しかけていただいた町民のみなさん、遠方からご当地入場券を制覇したとわざわざ見せに来てくださった方など、協力隊として活動している際に関わらせていただいたすべての方に心より感謝しております。

最後に、由仁町のさらなる発展とみなさんのご健康とご多幸をお祈りいたしまして、御礼の言葉にかえさせていただきます。



この風景に魅かれて移住を決意しました。



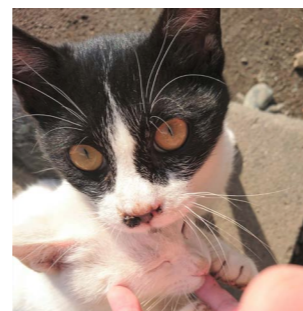
ポッポ館前の道路と道道3号線のT字路。
毎日美しい風景を見せてくれました。



由仁町内で撮影した向日葵。
車をUターンして撮影しました。



三川小学校最後の鼓笛隊。
いつの日か由仁小学校で
復活することを願っています。



由仁町の農家さんに行くと、いろいろなねこさん達がお出迎えてくれます。



由仁町のみなさん、ありがとうございました！！

由仁町地域おこし協力隊 黒川 真奈美

2015年7月に着任して以来、本当にたくさんのことを経験し、たくさんの方たちと知り合うことができました。人と知り合うために協力隊になるわけではありませんが、知らない土地では、人とのつながりがなければ何もできません。みなさん、本当にいい方ばかりでした。

残念ながら今はまだ、やりたいことが形にはなっていませんが、このつながりを大切にしながら、少しずつ自分の目指すことを形にしていきたいと思っています。

町なかで見かけた際には、今まで同様、気軽にお声かけくださいませ。

本当にありがとうございました。

2015年～2018年の思い出



2年9か月分。10000枚以上撮った中から選ぶのはかなり厳しい。。食べ物だけですごい数。全部由仁のものです。全部食べました。全部おいしいです。



撮影しながら歩くので、毎回ちっともゆっくり出来ない「ゆっくりウォーキング」と、幻想的な橙色の灯りの中を進んでいくお神輿にウットリした秋の例大祭。



田植え体験の生徒さんを乗せたバスが見えなくなるまで見送る受け入れ農家さん。優しい表情が大好きです。



町民のビンゴ大会への情熱を肌で感じた百足祭りとクオリティーの高さに驚いた三川地藏祭り。そして、1年で最も辛い取材の犬ぞり大会。



彼の書く広報原稿には、相当悩まされました。



農家さんと仲良しになったおかげで見ることが出来た風景たち。ほんの一部。どこも大好きです。



電話番号一覧

市外局番 (0123)

総務課

☎ 83-2111

住民課 税務

☎ 83-3902

住民課 環境・交通

住民課 戸籍・国保

☎ 83-3903

教育課

☎ 83-3904

地域活性化課

☎ 83-2112

農業委員会事務局

☎ 83-2113

産業振興課

☎ 83-2114

建設水道課 上下水道

☎ 83-2115

建設水道課 土木・建築

☎ 83-2116

保健福祉課

(健康元気づくり館内)

☎ 83-4750

町立診療所

☎ 83-2031

南空知消防組合

由仁支署

☎ 83-2388



鍵情報

健康元気づくり館・文化交流館の受付

4月1日から両館の利用受付は、文化交流館内の由仁町社会福祉協議会が行います。

開館日は今までと変わりませんが、文化交流館の土曜・日曜・祝日の利用は、事前に利用の申し込みがあった場合のみ開館します。

両館の利用申し込みや使用料の支払いは、社会福祉協議会の窓口で行うことができます。

由仁町社会福祉協議会 ☎ 0123-82-2167
由仁町文化交流館 ☎ 0123-82-2000

※利用申し込みはどちらの電話番号でも受け付けています。これまでの健康元気づくり館の受付電話(☎0123-82-2211)は廃止しました。

4月1日から町民センターの閉館時間が変わります

日曜日の夜は利用者が少ないため、町民センターは日曜日のみ、午後5時で閉館します。みなさんのご理解とご



協力をお願いします。



税・年金

国民年金情報

(1) 学生納付特例申請受付開始

▼学生納付特例制度とは 日本国内に住むすべての方は、20歳から国民年金の被保険者になり、保険料の納付が義務づけられています。所得が少ない学生は、在学中の保険料の納付を先送りできる「学生納付特例制度」が設けられています。制度を利用せず未納の

ままにしておくと、突然の事故や病気で障がいが残ったときに障害年金の受給ができなかったり、老後の年金である老齢年金の受給ができなくなる場合があります。

▼窓口で申請する場合に必要なもの (1) 学生証の両面の写しまたは在学証明書の原本 (2) 印鑑 (3) 「通知カードと運転免許証など本人確認のできる書類」または「マイナンバーカード」へ

届出に必要なもの

保険証・在学証明書・印かん 届出場所 住民課戸籍・国保担当 健康元気づくり館 三川郵便局 住民課戸籍・国保担当

国民健康保険の手続きは由仁町で

4月から始まる新たな国民健康保険制度は、北海道が市町村とともに運営しますが、保険証の交付など身近な手続きは今までどおり町で行います。なお、現在お持ちの保険証は有効期限までお使いいただけます。

▼4月からの主な変更点 (1) 保険者が北海道になり、町では保険証の交付を行います。 (2) 葬祭費の金額が2万円から3万円になります。



国民健康保険の加入・脱退の手続きはお済みですか？

会社などの健康保険に加入したときは、国民健康保険を脱退しなければなりません。会社などの健康保険から脱退したときは、ほかの健康保険に必ず加入しなければなりません。

特に4月は就職や進学で、加入・脱退の届出が必要となる機会が多くなる時期です。手続きを忘れないで行ってください。なお、届出の期間は14日以内です。

▼ハガキ形式の申請書で申請する場合

前年度に学生納付特例が承認され、今年度も在学予定の方には、ハガキ形式の申請書が送付されます。引き続き申請する場合は、申請者記入欄に必要事項を記入し返信してください。

ハガキ形式の申請書が送付されていても、在学している学校に変更がある場合はハガキ形式の申請書を利用することができます。窓口で申請してください。学生でハガキが送付されなかった方は、窓口で申請してください。

▼追納制度

学生納付特例の承認を受けた期間は、将来受け取る年金額には反映されません。10年以内であればあとから保険料を納めることができますので、

☎ 0126-22-5804

住民課戸籍・国保担当

岩見沢年金事務所国民年金課

☎ 0126-22-5804

住民課戸籍・国保担当



福祉・介護

高齢者・障がい者が安心して暮らせるために

町では、介護保険や障がい者福祉を推進するため、新しい計画を次のとおり策定しました。

計画期間は、平成30年度から平成32年度までの3年間です。

- ・高齢者保健福祉計画
- ・第7期介護保険事業計画

- ・障がい者計画
- ・第5期障がい福祉計画
- ・第1期障がい児福祉計画

計画書は、各公共施設に配置するほか、町のホームページでも見ることができます。

【国保健康福祉課高齢・障がい担当】

ご相談ください こころの健康相談

こころに健康問題を抱えている方やその家族から相談を受け付けます。

相談場所・日時

▼岩見沢保健所（岩見沢市8条西5丁目）

4月19日（木）、6月21日（木） 13時～15時

▼夕張市保健福祉センター（夕張市若菜3番地19）

6月7日（木） 15時～16時30分

予約受付 相談日前日の午前中まで

相談員 精神科医師

6月以降の相談日はお問い合わせください。また、相談日以外でも、保健師が電話や面接での相談を行っています。

【岩見沢保健所健康推進課健康支援係】

☎ 0126-20-0122



生活

消費生活相談室

安売りにつられ、高額な健康食品を購入

相談事例

空き店舗に新しく入った店で、食品が安く売られていて、健康についても説明してくれるので、毎日通っていた。数日前

血管の話聞いた後、薬を飲むよりも血管がきれいになるという健康食品を「今日が締め切り」などと勧められ、断りきれずに購入した。（80歳代女性）

注意事項

・無料や安価で販売される食品や日用品を

てに店に通っていたところ、巧みな話術で「貰わないと損、買わなければ損」という心理にさせられ、高額な健康食品を勧められたという相談が寄せられています。

・通い続けて顔見知りになり、言葉巧みに勧誘を受けると断りきれなくなる場合もありますので、安易にそのような場に行かないことが大切です。

【南空知消費生活相談室】

☎ 0123-72-3581



春の全国交通安全運動

期間 4月6日（金）～4月15日（日）

運動の重点

- ・子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- ・自転車の安全利用の推進
- ・すべての座席のシートベルトとチャイルドシート

飲酒運転の根絶

4月は新入学児童が登校を始め、家庭、学校、職場、地域のみなさんで子供たちを交通事故から守りましょう。

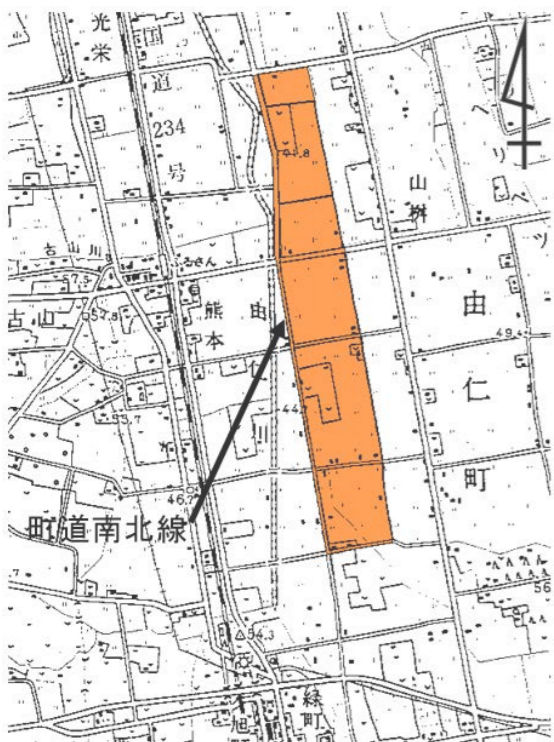
【住民課環境・交通担当】

デマンドタクシー運行に関するお知らせ

4月1日から、デマンドタクシーの運行便と運行範囲が一部変わります。

運行便は、18時50分発の第5便を廃止し、1日4便に変わります。

また、運行範囲は、川端、東三川、岩内、中三川、本三川、山柵の6地区に加え、新しく熊本地区の



ごみ

ペットボトルは分別して捨てましょう

4月1日から、ペットボトルの本体・キャップ・ラベルを分別していないものについては、回収されません。

ペットボトル本体は、ビン・缶・ペットボトル用（灰色袋）、取り外したキャップ・ラベルは、プラスチック類用（白色袋）に分別してください。



ラベルを分別し、白色袋に入れる！

消防

春の火災予防運動

『火の用心 ことばを形に 習慣に』を統一標語として、4月20日から4月30日まで全道一斉に春の火災予防運動が行われます。

この時期は空気が乾燥しやすく、ささいな不注意から火災につながります。日ごろから防火を心がけ、尊い命や大切な財産を守りましょう。

いのちを守る7つのポイント

- ▼習慣
- ①寝たばこは絶対にやめる。
- ②ストーブは燃えやすい物から離れた位置で使用する。



農業・商業

由仁町の安心で安全な農産品や町内の観光施設をPRするために、会員自ら生産した農産物や農産加工品を町内外の物産展やイベントで対面販売する活動をしています。たくさんの方の募集をお待ちしています。

年会費 3,000円

圃産業振興課由仁のもの
事業担当

由仁町特産品販売推進協議会の会員募集



農業・商業

危険物取扱者・消防設備士試験

今年度の危険物取扱者試験および消防設備士試験は、別表のとおり実施します。

電子申請については、

危険物取扱者・消防設備士試験

- ③ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- ▼対策
- (1)逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
 - (2)寝具や衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防災製品を使用する。
 - (3)火災を小さいうちに消すために住宅用消火器を設置する。
 - (4)お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



防災

**無線放送が
コンピュータ音声に
変わります**

4月1日から、防災行政無線の放送がコンピュータ音声に変わります。これからは町民のみならず、皆さんに行政情報を伝えるため、わかりやすい放送を心がけますので、よろしく願います。

圃地域活性課地域活性担当

一般財団法人消防試験研究センターのホームページをご覧ください。
<http://www.shoubo-shiken.or.jp/>

圃南空知消防組合由仁支署



その他

ファイターズ戦にご招待！

由仁町民応援デー

北海道日本ハムファイターズでは、6月3日(日)14時から札幌ドームで開催される中日戦に由仁町にお住まいの方50組100人を招待します。

申込方法

▼パソコンの場合
<http://www.fighters.co.jp/kansen/>

▼スマホ・携帯の場合
左のQRコードより申し込みフォームにアクセスしてください。



危険物取扱者試験

試験日	受付期間	
	書面申請	電子申請
5月27日(日)	4月18日(水)～4月26日(木)	4月15日(日)～4月23日(月)
6月17日(日)	5月10日(木)～5月17日(木)	5月7日(月)～5月14日(月)
7月22日(日)	6月18日(月)～6月25日(月)	6月15日(金)～6月22日(金)
8月26日(日)	7月18日(水)～7月26日(木)	7月15日(日)～7月23日(月)
10月14日(日)	9月7日(金)～9月14日(金)	9月4日(火)～9月11日(火)
11月4日(日)	9月27日(木)～10月4日(木)	9月24日(月)～10月1日(月)
12月9日(日)	11月5日(月)～11月12日(月)	11月2日(金)～11月9日(金)
平成31年1月20日(日)	12月3日(月)～12月10日(月)	11月30日(金)～12月7日(金)
平成31年3月10日(日)	平成31年2月1日(金)～2月8日(金)	平成31年1月29日(火)～2月5日(火)

消防設備士試験

試験日	受付期間	
	書面申請	電子申請
6月17日(日)	5月10日(木)～5月17日(木)	5月7日(月)～5月14日(月)
8月26日(日)	7月18日(水)～7月26日(木)	7月15日(日)～7月23日(月)
11月4日(日)	9月27日(木)～10月4日(木)	9月24日(月)～10月1日(月)
平成31年1月20日(日)	12月3日(月)～12月10日(月)	11月30日(金)～12月7日(金)
平成31年3月10日(日)	平成31年2月1日(金)～2月8日(金)	平成31年1月29日(火)～2月5日(火)

※試験の種類、試験地に関しては、南空知消防組合由仁支署にお問い合わせください。

申込期限 4月20日(金)

※応募多数の場合は抽選となります。

対象席種
C指定席(墨側・お座席位置は選べません)

その他 当選者の方で別の席種をご希望される場合は、試合当日に札幌ドーム場内前売券売場にて、座席変更を受付します。(有料・席数限り有)

※当落通知は、試合日の1週間前までにメールで送付します。

「fighters.co.jp」および「mail.fighters.co.jp」の各ドメインからのメールを受信できるように事前に設定をお願いします。

注意事項 ファウルボールや折れたバットなどにより負傷された場合、応急処置はいたしますが、主催者・球場

管理者に帰責事由がある場合を除き、その後の責任は負いかねます。

圃北海道日本ハムファイターズお客様センター
011-857-3939

**フラワーマスター
会員を募集**

由仁町フラワーマスター協議会(会長 小仲弘康)では、平成30年度の新規会員を募集します。

同協議会は、北海道知事が認定した由仁町に在住する「フラワーマスター」の団体です。

花が好きでボランティアをとおして花のまちづくりを積極的に実践できる方を募集します。

活動内容
・町内の植化事業および花壇維持管理作業に對



する指導
・花の栽培技術やまちづくりのための研修

年会費 1,000円

圃産業振興課由仁のもの
事業担当

健診項目・料金・対象者

健診項目	料金	対象者
特定健診	1,500円	由仁町国保に加入の40～74歳 年度内に40歳になる方は無料
基本健診	1,500円	後期高齢者医療制度に加入の方
	1,000円	20～39歳
胃がん検診	料金を変更 1,500円	40歳以上
肺がん(結核)検診	料金を変更 600円	20歳以上
大腸がん検診	600円	40歳以上
子宮がん検診	料金を変更 1,800円	20歳以上の女性、昨年度受けた人は対象外
乳がん検診	※1,600～2,000円	40歳以上の女性、昨年度受けた人は対象外
前立腺がん検診	※1,944～2,700円	50歳以上の男性
エキノコックス症検診	200円	小学3年生以上
肝炎検査	※2,052～4,020円	40歳以上の受けたことがない人
胃がんリスク検査	※4,320～4,644円	20歳以上

※健診機関によって料金が異なります。

接種期間
平成31年3月31日まで

※過去に予防接種を受けたことがある方は対象となりませんので、ご注意ください。

①今年度中(平成30年4月1日～平成31年3月31日)に60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓または呼吸器の機能に自己の身の辺の日常生活活動が極端に制限される程度の障がい有する方(別表) 85歳、90歳、95歳、100歳となる方(別表)

②60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓または呼吸器の機能に自己の身の辺の日常生活活動が極端に制限される程度の障がい有する方(別表)

※過去に予防接種を受けたことがある方は対象となりませんので、ご注意ください。

年齢	生年月日
65歳	昭和28年4月2日生～昭和29年4月1日生
70歳	昭和23年4月2日生～昭和24年4月1日生
75歳	昭和18年4月2日生～昭和19年4月1日生
80歳	昭和13年4月2日生～昭和14年4月1日生
85歳	昭和8年4月2日生～昭和9年4月1日生
90歳	昭和3年4月2日生～昭和4年4月1日生
95歳	大正12年4月2日生～大正13年4月1日生
100歳	大正7年4月2日生～大正8年4月1日生

接種医療機関
町立診療所、牧野内科医院

接種方法 体調の良い日に個別通知のハガキと健康保険証を持って受診してください。病院に予約票がありますので、記入し提出してください。肺炎球菌ワクチンを1回接種します。

接種費用 対象年齢の方は無料です。対象とならない年齢の方は任意接種となり、全額自己負担となります。

問 保健福祉課保健予防担当

高齢者の肺炎球菌感染症予防接種

高齢者の肺炎球菌感染症予防接種は、65歳以上のすべての方が平成26年度から平成30年度までの5年間の間に一度対象となります。今年度の対象者には4月中にハガキで通知しますので、早めに接種してください。

・北海道対がん協会(レディースひまわり健診)
・札幌商工診療所(夏のひまわり健診・冬のひまわり健診)
・札幌厚生病院(秋のひまわり健診・農協施設ドック)へ

今年度の健診日程



保健福祉課
☎0123-83-4750
FAX 0123-83-3813

特定健診、基本健診、がん検診を別表のとおり実施します。計画を立てて、年度内に受診しましょう。

なお、がん検診では検査方法の変更で、自己負担額が変わったものもありますので、ご了承ください。

協会けんぽなどの由仁町国保以外の特定健診は、次の医療機関と契約されている受診券をお持ちの場合、町の総合健診を受けることができますので、ご相談ください。

・札幌商工診療所(夏のひまわり健診・冬のひまわり健診)
・札幌厚生病院(秋のひまわり健診・農協施設ドック)へ

平成30年度健診日程

健診名	場所	日程	受付時間	その他
夏のひまわり健診	三川会館 健康元気づくり館	6月27日(水)	6時30分～10時30分	6月29日、30日は 子宮がん・乳がん検診実施
		6月28日(木)		
		6月29日(金)		
		6月30日(土)		
秋のひまわり健診	三川会館 健康元気づくり館	11月7日(水)	7時～10時30分	JA組合員の助成あり
		11月8日(木)		
		11月9日(金)		
冬のひまわり健診	三川会館 健康元気づくり館	平成31年2月6日(水)	7時30分～10時30分	
		平成31年2月7日(木)		
		平成31年2月8日(金)		
レディースひまわり健診	北海道対がん協会	11月1日(木)	健康元気づくり館 7時～ 三川会館 7時25分～ ※バスで移動	※オプション検診(胃カメラ・肺ヘリカルCT・腹部エコー・腹部CT・骨検診など) ※個別に受診することも可能
		11月13日(火)		
		12月5日(水)		
農協施設ドック	札幌厚生病院	対象者には、JAそらち南から連絡があります。		※個別に受診することも可能

健診名	場所	受付日時	予約先
特定健診 基本健診	牧野内科医院 町立診療所	予約時に時間などご確認ください	・牧野内科を希望の場合は保健福祉課(☎0123-83-4750)へ。 ・町立診療所を希望の場合は、診療所(☎0123-83-2031)へ。
子宮がん検診	岩見沢レディースクリニック	午前(月～土)9時～12時30分 午後(月・金)14時～17時 (火・木)14時～19時	保健福祉課へ ご連絡ください
乳がん検診	新札幌乳腺クリニック	午前(月～土)8時45分～11時30分 午後(月・水・金)13時30分～15時	

げんきチケットの申請を受け付けます

KCM事業へ健診受けて、チケットもらって、まちで使おうの今年度の申請受付を開始します。

交付を希望される方は、保健福祉課（健康元気づくり館内）へ申請してください。交付は4月下旬を予定しています。

内容 健診を受けた方へ町内で使える割引チケット（げんきチケット）を交付します。

対象者

・町内に在住の20歳以上の方で、平成29年度に別表の健診を受けている方

・町税などを滞納していない方
げんきチケットが使える場所

ゆにガーデン、体験農園、ユニの湯、町民由仁プール、古山オートキャンプ場、町内パークゴルフ場（ゆにっPAA!、三川）、由仁町共通商品券加盟店、夏・秋・冬



ゆめっく館

☎ 0123-83-3803

FAX 0123-83-3056

休館日 (月)・(祝)

こども映画会

▼4月21日(土) 14時

「おじゃる丸スペシャル」
50分

※4月からこども映画会は第3土曜日のみになります。

のひまわり健診

使い方 1回の利用でげんきチケットを1枚使用できます。1枚2000円の割引が受けられます。

申請期間

平成30年12月末まで

実施期間

平成31年3月31日まで

※保健福祉課保健予防担当

対象となる健診とげんきチケット交付枚数

	健診の種類	対象者	交付チケット枚数
基本分 (必須)	町が実施する 特定健診	国保 40歳～74歳	5枚または 2枚+ゆにガーデン 年間パスポート のどちらか
	町が実施する 基本健診	20歳～39歳 または75歳以上	
	職場の健診や 人間ドック※1	20歳以上	
加算分 ※2	町が実施する がん検診 (胃、肺、大腸、子宮、乳)	・子宮がん、肺がん 20歳以上 ・その他のがん 40歳以上	2枚 (がん検診のみの受診 ではチケット交付は できません)
	職場や人間ドックで 受けたがん検診※1		

※1 職場や個人で受けた健診は結果の提出が必要です。

※2 5つのがん検診のうち、ひとつでも受けていれば加算対象となります。

おはなし会

▼4月14日(土) 14時

ゆめっく館

▼4月24日(火) 16時

三川会館

▼4月28日(土) 14時

ゆめっく館・三川会館

※おはなし会では、絵本を読んだ後に、楽しい工作やゲームを行います。

新刊リスト

▼一般書

『山岳読図ナビゲーション大全』村越真

『雑学ニッポン「出来事」図鑑』ケン・サイト

『運転を続けるための認知症予防』浦上克哉

『みんなの機内食』

『認知症になった家族との暮らししかた』ナツメ社

『PTAのあいさつ・司会進行』

文書の事典

PTAマナー研究会

『無農薬「自然菜園」で育てる

人気野菜』新田穂高

『今の科学でここまでわかった

世界の謎99』日経ナショナル

ルジオグラフィック

▼小説・エッセイ

『サハラの手』道尾秀介

『風神の手』道尾秀介

『牛天神』山本一力

『青き山嶺』馳星周

『口笛の上手な白雪姫』小川洋子

『棲月』今野敏

『護られなかった者たちへ』

中山七里

『玄鳥さりて』葉室麟

『刑事の怒り』葉丸岳

『おらおらでひとりいぐも』

若竹千佐子

※掲載した本は一部です。

くわしくは問い合わせください。



子育て支援センター

☎ 0123-83-2173

FAX 0123-76-7003

4・5月のわくわくたまご・ひよこぐみ

今年度も4月から2月まで20回開催します。子供の成長を感じる機会として参加しませんか？

わくわくたまごぐみ

▼4月18日(水) 10時～11時

こいのぼり製作

▼5月2日(水) 10時～11時

戸外あそび

(雨天時風船あそび)

▼5月16日(水) 10時～11時

手形の額絵

わくわくひよこぐみ

▼4月25日(水) 10時～11時30分

こいのぼり・かぶと製作

▼5月9日(水) 10時～11時30分

ジャンボシヤボン玉へ

資料展

「棟方志功を知る」

ゆめっく館ホールで、4月15日まで資料展「棟方志功を知る」を開催中です。3月末まで道立近代美術館で開催されていた「棟方志功展」によって実施しているものです。

北海道立図書館所蔵の美術書や雑誌などを展示、貸し出ししています。利用は無料です。資料を通して板画家・棟方志功の作品や生涯に触れてみませんか。





まちかど伝言広場

町内で活動している
団体などの伝言板です

由仁町を日本一桜の町にする会から

植樹祭を開催します。
日時 4月29日(日) 10時
集合場所 体験農園
植樹場所 体験農園周辺
や町道薫の丘線
昼食 大人1,000円
(中学生以下は無料)



※雨天の場合、4月30日(月)10時に延期します
企画印刷(株)
☎0123-83-2726

ゆにガーデン 4月21日(土)オープン

年間パスポート入会
キャンペーンを実施します。
5月31日(木)までに申し込みください。詳細はお問い合わせください。

①さくらまつり開催!

期間 4月28日(土)～5月6日(日)

期間内、小学生は入園無料。
ランチバイキング通常900円のところ500円!

②今年の母の日もお母さんはお得です!

期間 5月12日(土)～13日(日)
お母さんは入園無料。
ランチバイキング通常1,750円のところ



編集のひとりごと

三川保育園のひな祭り
楽しみ会の後、2月生まれの園児のお誕生日会が開かれましたが、その時に人形劇が行われました。園児たちが「メガネおじさん!」と叫ぶと、黒縁の丸メガネと黒色のボーラーハットを被ったおじさんが登場。人形は糸で操るマリオンネット
で、カップメンの容器や空のペットボトルで作られています。繰り広げられる愉快な寸劇に、園児たちは声をあげて笑っていて、自分も思わず声が出てしまいうそでした。(地域活性課地域活性担当 平中)

手話サークルつぼみ からのお知らせ

今年度も手話サークルつぼみがスタート。メンバー18人、忘れることも多いけど、得ることも多し! 毎回楽しく学習会を開いています。

1,000円!
園ゆにガーデン
☎0123-82-2001

園大野
☎0123-83-3063

赤ちゃん

氏名	月日	保護者	住所(自治区)
木戸莉緒奈	2/27	健博	三川泉町(三川泉町南)

おくやみ

氏名	年齢	月日	住所(自治区)
東樹 榛子	82	3/1	三川旭町(同左)
竹林 一男	86	3/1	三川緑町(同左)
中村小七郎	88	3/2	古山(同左)
鈴木 剛	97	3/3	東栄(由仁7区)
菅原美登里	89	3/6	本三川(同左)
作田ヒナ子	88	3/7	光栄(下古山)
熊林 貞子	95	3/11	東三川(同左)
村田 義雄	76	3/13	新光(由仁10区)

(3月15日までの届出分)

人の動き

人口 5,272人(前月比 -7人・前年比 -103人)
男性 2,506人 女性 2,766人
世帯 2,441世帯(前月比 +3世帯)
※平成30年3月1日現在(住民基本台帳人口)



平成30年 工業統計調査 を実施します

調査期日 **6/1** 調査票への回答をお願いします

工業統計調査は、工業の実態を明らかにすることを目的とした重要な統計です。調査結果は中小企業施策や地域振興などの基礎資料として利活用されます。

広告

あなたの悩みに

すべての相談の相談料が **無料** になりました。

コタエを出します

相談予約ダイヤル **0126-33-8373** 平日 10:00~16:00 (12:00~13:00を除く)

札幌弁護士会 南空知法律相談センター



広報ゆにの アプリ配信を始めました

広報ゆにをより多くの方に提供できるよう、スマートフォン用アプリ「マチイロ」による配信を始めました。無料アプリをダウンロードして登録すると、広報ゆにがスマートフォンやタブレットで、いつでもどこでも読むことができます。ぜひ、ご登録ください。

■こんなに便利! 「マチイロ」の機能

- 手軽さ** 簡単な設定をするだけで、好きな自治体の広報誌がサクサク読めます。
- 通知** 広報の最新号が配信されると、プッシュ通知が届きます。
- 無料** アプリは無料で利用できます。ただし、通信料は利用者の負担になります。

■マチイロは、以下のQRコードからインストールしてください。



ios版



Android版

暮らしのCalendar




日	月	火	水	木	金	土	
	<ul style="list-style-type: none"> 春の全国交通安全運動 4月6日~4月15日 資料展「棟方志功を知る」 4月15日まで 		4/11	12	<ul style="list-style-type: none"> 子育てサロン ぞうさん広場 「ベビーマッサージ」 由仁保育園 10:00-12:00 無料法律相談会 げんき館 13:00-16:00 	<ul style="list-style-type: none"> 手話サークルつぼみ げんき館 10:00-11:30 くりやま老舗まつり →4月15日まで (22P参照) おはなし会 	
15	16	<ul style="list-style-type: none"> ふまねっと健康づくり教室 川端消防会館 10:00-11:40 	わくわくたまご組	18	<ul style="list-style-type: none"> 子育てサロン ぞうさん広場 「読み聞かせ」 由仁保育園 10:00-12:00 春の火災予防運動 →4月30日まで 	<ul style="list-style-type: none"> 手話サークルつぼみ げんき館 10:00-11:30 こども映画会 ゆにガーデンオープン 	
22	23	<ul style="list-style-type: none"> ふまねっと健康づくり教室 げんき館 10:00-あかり館 13:30- おはなし会 	わくわくひよこ組	25	<ul style="list-style-type: none"> 子育てサロン ぞうさん広場 「ママの日」 由仁保育園 10:00-12:00 	<ul style="list-style-type: none"> 手話サークルつぼみ げんき館 10:00-11:30 おはなし会 ゆにガーデン さくらまつり →5月6日まで 	
植樹祭	29	<ul style="list-style-type: none"> ふまねっと健康づくり教室 川端消防会館 10:00-11:40 	わくわくたまご組	30	3	4	5
6	<ul style="list-style-type: none"> すくすくサロン げんき館 10:00-11:30 乳幼児健診 げんき館 13:00-14:30受付 	<ul style="list-style-type: none"> ふまねっと健康づくり教室 げんき館 10:00-あかり館 13:30- 	わくわくひよこ組	9	10		

- 春の全国交通安全運動 (26~31P)
- 子育て支援センター (34~35P)
- ゆめっく館 (35P)
- まちかど伝言広場 (36~37P)

毎週の行事

- 月** 健康・栄養相談室 げんき館 10:00-12:00 ※4月30日はありません
- 水** げんき塾 げんき館 10:30-11:30 ※5月2日はありません
- 金** げんき塾 三川会館 10:30-11:30 ※5月4日はありません



みんなも参加しよう!

げんき塾

少しでも長く健康で在宅生活が送れるように、運動教室を開催しています。参加料は1回100円。介護が必要にならない身体づくりを目指しましょう!

場所 毎週水曜日 げんき館
毎週金曜日 三川会館

時間 10時30分~11時30分

由 由仁町社会福祉協議会

TEL 0123-82-2167